

# 芦屋市次世代育成支援対策推進行動計画原案策定委員名簿

(平成20年11月3日現在)

	氏 名	所 属 等
学識経験者	中田 智恵海	仏教大学教授
	佐々木 勝一	京都光華女子大学准教授
市民委員	石濱 美奈子	市民委員
	成田 直美	市民委員
団体選出委員	妹尾 洋子	芦屋市保育推進保護者会協議会会長
	大脇 巧己	NPO法人さんぴいず事務局長
	河盛 重造	芦屋市医師会理事
	藤井 清	芦屋市商工会事務局長
	中田 伊都子	芦屋市PTA協議会会長
	野田 京子	芦屋栄養士会会長
	牧野 君代	芦屋市青少年育成愛護委員会会長
行 政	磯森 健二	芦屋市保健福祉部長

事 務 局	中村 尚代	保健福祉部こども課長
	水谷 幸雄	保健福祉部こども課保育所担当課長
	余吾 康幸	保健福祉部こども課長補佐
	柏原 由紀	保健福祉部こども課主事

## 芦屋市次世代育成支援対策推進行動計画原案策定委員会設置要綱

### (設置)

第1条 次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第8条第1項の規定に基づき、芦屋市次世代育成支援対策推進行動計画(以下「計画」という。)の原案を策定するため、芦屋市次世代育成支援対策推進行動計画原案策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

### (所掌事務)

第2条 委員会は、計画の原案策定に関する事その他設置目的達成のため必要な事項に関する事を所掌する。

### (組織)

第3条 委員会は、12人以内の委員をもって組織する。

2 委員会の委員は、次に掲げる者又は団体から選出された者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 市民
- (3) 子育て支援団体
- (4) 任意の子育てグループ
- (5) 市内で活動する任意団体
- (6) 国又は県の機関
- (7) 社会福祉団体
- (8) 教育関係団体
- (9) 行政関係者

### (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から計画策定の日までとする。

### (委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選によりこれを定め、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長の指名によりこれを定め、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(意見の聴取)

第7条 委員会において、必要があると認めるときは、委員以外の者を出席させて意見等を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、児童福祉に関する事務を所管する課において行う。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮り定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成20年8月1日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、委員会が芦屋市次世代育成支援対策推進行動計画を策定した日限り、その効力を失う。

# 芦屋市次世代育成支援対策推進行動計画<後期> 計画策定の概要(案)

### 少子化の現状

- 1.出生数及び合計特殊出生率の推移
  - ・団塊の世代のジュニアたちによる第3次ベビーブームが到来しなかった
- 2.出生順位別にみた年次別母の平均年齢
  - ・20代で子どもを生む女性が減り、30代や40代で子どもを生む女性が増えている
  - ・医学が進歩して30代後半ではじめて出産する女性も珍しくなくなった

### 国による後期行動計画策定に向けた方向性

- 1.『子どもと家庭を応援する日本』重点戦略(2007年)
- 2.『仕事と生活の調和(ワークライフバランス)憲章・行動指針』(2007年)
- 3.新待機児童ゼロ作戦(2008年)
- 4.社会保障の機能強化のための緊急対策～5つの安心プラン～(2008年)

### 新たな対策の方向性

**包括的な次世代育成支援の枠組みの構築**

- 親の就労と子どもの育成の両立を支える支援
- すべての子どもの健やかな育成の基盤となる地域の取り組み
- すべての子どもの健やかな育成を支えるサービス

**仕事と生活の調和の実現**

- 就労による経済的自立、健康で豊かな生活の確保の可能な社会
- 多様な働き方・生き方ができる社会

### 新たに提供・拡充すべき取り組み

- 就労希望の増加に対応した必要なサービスの整備
- 保育所から放課後児童クラブへの切れ目のない移行
- 一時預かり、地域の子育て拠点・親子の居場所の整備
- 生後4ヶ月までの全戸訪問調査、育児支援家庭訪問の実施
- 先進企業の好事例等の情報の収集・提供・助言
- 男性の育児休業の取得促進方策等、子育て参加の支援・促進
- 一般事業主行動計画策定の周知啓発

### 施策の有効性

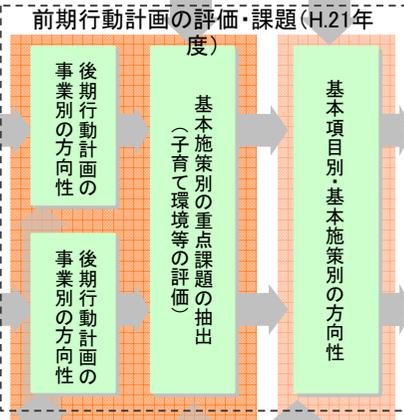
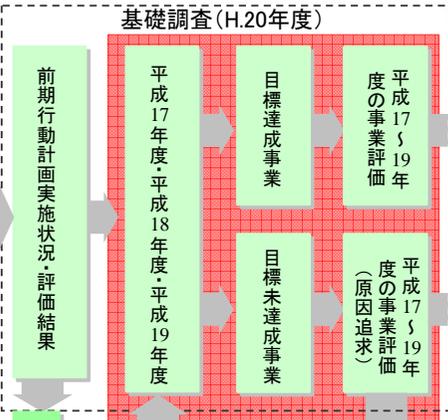
- ① 施策の実現方策のために具体的事業につながるか
- ② 市民の満足の上につながらるか
- ③ 費用に応じた効果が見込めるか
- ④ 現状の問題・課題につながるか

### 国の意識調査に基づく少子化の原因

- 1.子どもをもつメリットが低下した、結婚に対する夢や希望が低下した
  - ・未婚の女性の63%が「子どもを必ずしも必要ない」と回答
  - ・「少子化に関心がある」と回答した人は全体で70%以上だが、年齢別みると30歳代の男女はともに低い
  - ・「結婚に対し、喜びや希望を感じるか」の質問に対し、全体では「感じる」と回答した人は50%近くだが、30歳以下の男女はともに2割に満たない
- 2.ハイパーシングル・シンドローム
  - ・「国民生活白書」によると、短大卒女性が就職後出産時に退職し、子育てがひと段落後に再就職する場合、退職しないで続けた人と比べ、賃金がかかりの損出になる
  - ・成人しても親元を離れない若者たちが増え、成人したら家を出るといふ核家族の原則が崩れ始めている

### 後期計画策定に向けた基本的な視点(国)

- 1 次世代の親となる世代を支援する
- 2 すべての子どもを健やかな育成の基盤となる地域をめざす
- 3 仕事と生活の調和の実現をめざす
- 4 親の就労と子どもの育成の両立を支援する
- 5 すべての子どもの健やかな育成を支援する

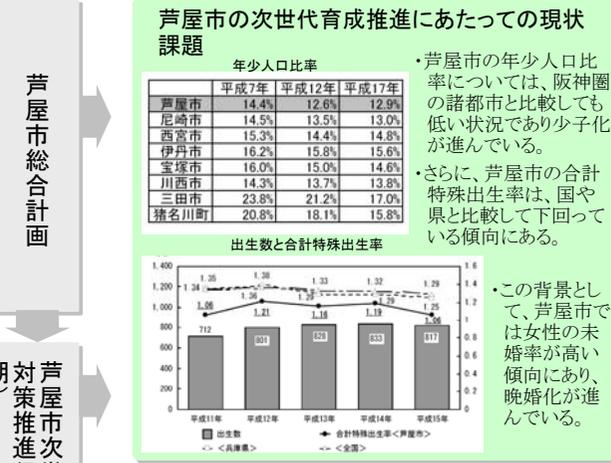


### 後期行動計画 目次 (案)

- 第1章 計画策定にあたって
- 第2章 子どもと子育てと家庭を取り巻く環境
- 第3章 前期計画の評価・進捗管理(新項目)
- 第4章 計画の基本的な考え方
- 第5章 施策の推進方向(保育等事業量)
- 第6章 計画の推進に向けて

基本理念(案)

ともに育てよう 親子のきずな 地域のきずな



### 前期計画の基本目標(評価指標)

- 1 家庭における子育てへの支援
- 2 母と子どもの健康の確保と増進
- 3 豊かな心・健やかな体を育む環境づくり
- 4 仕事と子育ての両立の推進
- 5 親子が安心して快適に暮らせる環境の整備

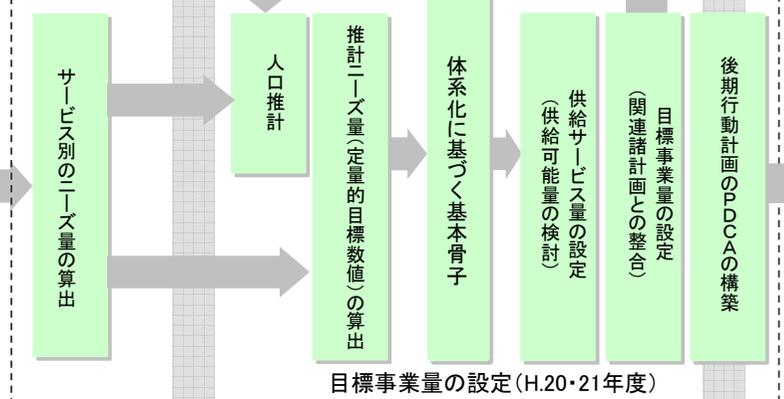
### アンケート調査(H.20年度)

**国のモデル調査項目**

- ・お父さんと家族の状況について
- ・保護者の就労状況について(現在・出産前後)
- ・保育サービスの利用について
- ・学童保育の利用について
- ・病気の時の対応、一時預かりの利用について
- ・ベビーシッターの利用について
- ・ファミリーサポートセンターの利用について
- ・つどいの広場について
- ・育児休業制度の利用について

**追加提案調査項目**

- ・子育ての状況について
- ・子育ての考え方や感じていることについて
- ・お子さんのふだんの過ごし方について
- ・子育て支援などの事業・施設の認知度について
- ・子育て全般について



子どもの育ちの視点

親としての育ちの視点

地域での支え合いの視点

芦屋市総合計画

芦屋市次世代育成支援対策推進行動計画(前期)

地域協議会 / 原案策定委員会 / パブリックコメント / 社会福祉審議会

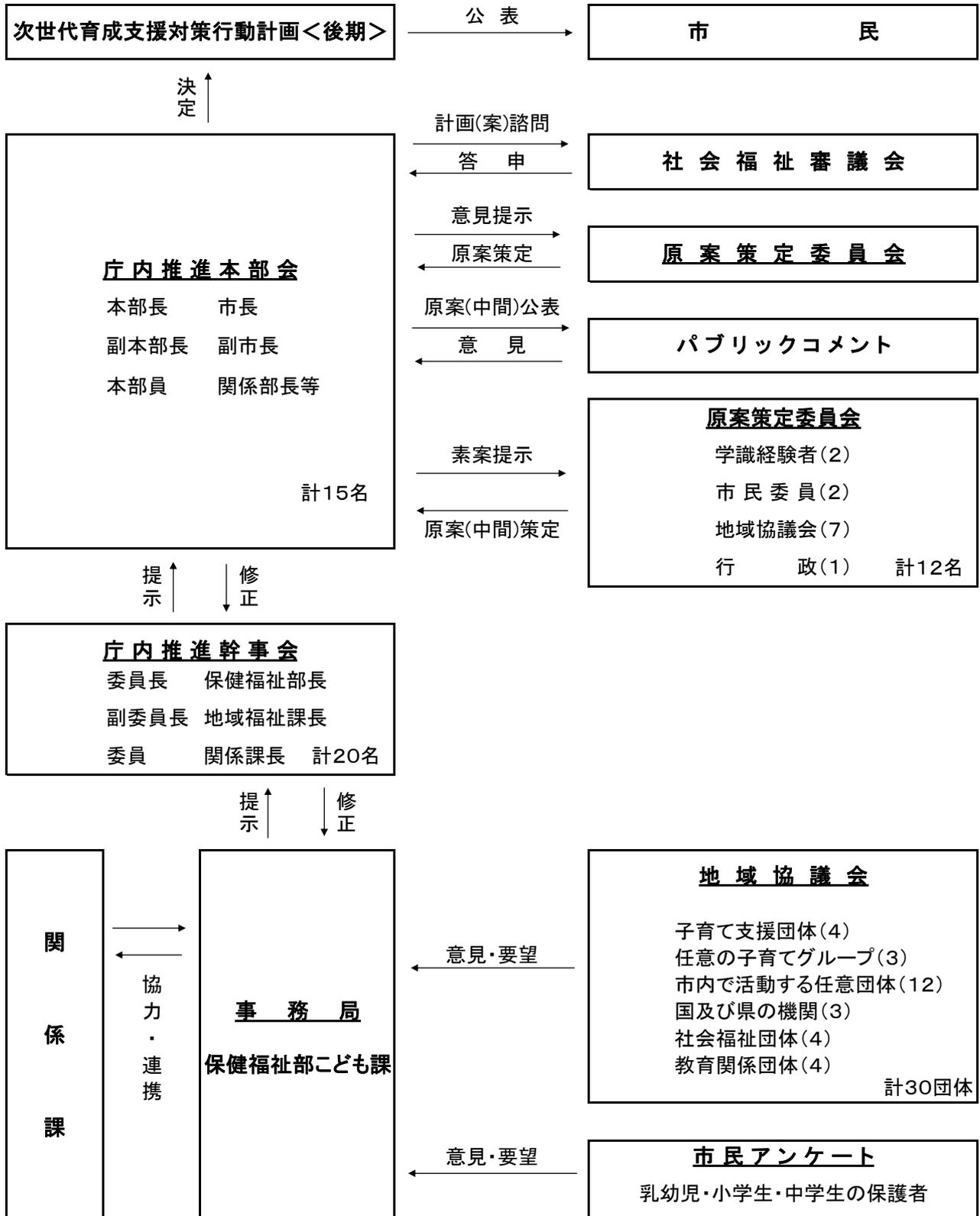
## 次世代育成支援対策推進行動計画＜後期＞策定スケジュール(案)

開催(実施)日	開催(実施)事項	内 容
平成20年 9月25日	第1回地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定の概要説明</li> <li>・市民アンケート調査項目の意見集約</li> </ul>
11月 3日	第1回原案策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定の概要説明</li> <li>・市民アンケート調査票の検討</li> </ul>
11月 日	第1回庁内推進幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協議会, 原案策定委員会の結果報告</li> </ul>
11月 日	第1回庁内推進本部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート調査の実施について</li> </ul>
12月 日 ～12月 日	市民アンケート調査実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査票の配布及び回収</li> </ul>
平成21年 1月 日 ～ 3月 日	市民アンケート調査結果 の集約・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙, ホームページ, 報告書により 後日公表</li> </ul>
3月 日	第2回地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート調査結果の報告</li> <li>・地域協議会の進め方等について</li> </ul>
5月 日	第3回地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別事業に関する協議(グループワーク)</li> </ul>
6月 日	第4回地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体意見の集約</li> </ul>
7月 日 ～ 8月 日	第2～3回庁内推進 幹事会 第2回庁内推進本部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの経過報告</li> <li>・計画素案の策定</li> </ul>
8月 日	第2回原案策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの経過報告</li> <li>・計画素案の検討, 原案(中間まとめ)の策定</li> </ul>
9月 日	第3回原案策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画素案の検討, 原案(中間まとめ)の策定</li> </ul>
10月 日	第4回庁内推進幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画原案(中間まとめ)の報告</li> </ul>
10月 日	第3回庁内推進本部会	
10月 日 ～11月 日	パブリックコメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画原案(中間まとめ)を公表し, 市民の 意見を聴取</li> </ul>
11月 日	第4回原案策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原案の策定</li> </ul>
12月 日	第5回原案策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原案の策定</li> </ul>
平成22年 1月 日	第5回庁内推進幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画原案の報告, 計画(案)の策定</li> </ul>
1月 日	第6回庁内推進幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画(案)の策定</li> </ul>
～2月 日	第4回庁内推進本部会	
2月 日	第1回社会福祉審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画(案)の諮問, 答申</li> </ul>
3月 日	第5回庁内推進本部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期計画の決定</li> </ul>

# 次世代育成支援対策推進行動計画<後期>の策定体制(案)

< 行 政 >

< 市民・地域 >



アンケート調査項目一覧表（国モデル項目）

質問項目	後期の国モデル項目（参考）		
	乳幼児	小学生	中学生
<b>子どもと家族の状況</b>			
子どもの生年月	問1	問2	問2
子どもの人数・末子の年齢	問3	問4	問4
同居・近居（30分以内）の祖父母等の有無	問4	問5	問5
日常的・緊急時等に子どもを預かってくれる人	問5	問6	
祖父母に子どもを預かってもらっている状況（問題点・心配等）	問5-1	問6-1	
友人・知人に子どもを預かってもらっている状況（問題点・心配等）	問5-2	問6-2	
主な保育者	問6	問7	問6
居住地区	問7	問8	問7
<b>保護者の就労状況について</b>			
就労の有無、就労形態・日数・時間、帰宅時間等	問8	問9	問8
母親の就労希望の有無	問8-1	問9-1	
母親の就労希望の形態（フルタイム・パートタイム・アルバイト）	問8-2	問9-2	
就労希望がありながら、現在働いていない理由（母親）	問8-3	問9-3	
1番小さい子どもが何歳になった時に就労を希望するか（母親）	問8-1	問9-1	
出産前後の1年以内に離職したか（母親）	問9		
保育サービス・環境が整っていたら就労を継続したか（母親）	問9-1		
<b>保育サービスの利用について</b>			
保育サービスの利用の有無	問10		
利用している保育サービス	問10-1		
利用状況（日数・時間帯）	問10-2		
利用している理由	問10-3		
利用していない理由	問10-4		
利用していないができれば利用したい又は不足していると思う保育サービス	問12		
今後の利用希望（種類・日数・時間帯）	問12-1		
利用したいと考えている理由	問12-2		
土曜日、日曜日・祝日の利用希望（回数・時間帯）	問13		
<b>学童保育の利用について</b>			
学童保育の利用の有無		問10	
利用日数		問10-1	
土曜の利用の有無		問10-2	
利用している理由		問10-3	
利用していない理由		問10-4	
今後の利用希望の有無		問10-5	
今後の利用希望日数		問10-6	
土曜の利用希望の有無		問10-7	
今後利用したい理由		問10-8	
放課後子ども教室の利用意向・日数		問12	
小学4年生以降の放課後の過ごし方についての希望		問13	

質問項目	後期の国モデル項目（参考）		
	乳幼児	小学生	中学生
<b>子どもが病気の時の対応について</b>			
この1年間に病気やケガで保育サービスが利用できなかった（学校を休んだ）こと	問16	問14	
その際の1年間の対処方法・日数	問16-1	問14-1	
どこかに預けたいと思った日数（父又は母が休んだ・親族知人に預けた人）	問16-2	問14-2	
<b>子どもの一時預かりについて</b>			
この1年間、私用・緊急の用事等で子どもを家族以外に預けた日数	問17	問15	
未利用者の今後の利用希望日数・利用者の利用増加日数	問18	問16	
<b>子どもの宿泊を伴う一時預かりについて</b>			
この1年間、保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたこと	問19	問17	
その際の1年間の対処方法・泊数	問19-1	問17-1	
親族・知人に預けることの困難度	問19-2	問17-2	
<b>来年度、小学校に入学する子どもの学童保育の利用について</b>			
学童保育の利用希望日数	問20		
<b>ベビーシッターの利用について</b>			
利用している目的	問21	問18	
利用頻度（日数・時間）	問22	問19	
未利用者の今後の利用希望日数・利用者の利用増加日数		問20	
<b>ファミリーサポートセンターの利用について</b>			
利用の有無	問23	問21	
利用目的	問23-1	問21-1	
利用頻度（日数・時間）	問23-2	問21-2	
今後増やしたい利用時間数	問23-3	問21-3	
未利用者の今後の利用希望時間	問23-4	問21-4	
<b>つどいのひろばの利用について</b>			
利用の有無・利用日数	問24		
今後の利用希望回数	問25		
利用していない理由	問24-1		
子育て支援サービスの認知度・利用実態・利用希望	問33	問32	問18
<b>育児休業制度の利用について</b>			
母親又は父親の育児休業制度の利用の有無	問26		
育児休業から復帰した時の子どもの月齢	問26-1		
育児休業明けに希望する保育サービスを利用できたか	問26-2		
育児休業明けに希望する保育サービスが利用できたら、取得期間は変わったか	問26-3		
育児休業明けに希望する保育サービスを利用できなかった時の対応	問26-4		

※ 国のモデル調査項目は、「通常保育、特定保育、延長保育、夜間保育、トワイライトステイ事業、休日保育、病児・病後児保育、放課後児童健全育成事業(学童保育)、地域子育て支援拠点事業(つどいのひろば)、一時保育(預かり)、ショートステイ事業、ファミリーサポートセンター事業」のニーズ量を把握するためのものです。

## アンケート調査項目一覧表（市独自設定項目）

＜ 質問番号→後期アンケートの番号，○→前期アンケートで実施，×→前期で実施・後期で実施せず，太枠→後期での新たな質問 ＞

質 問 項 目	後期の市独自項目			前期の市独自項目	
	乳幼児	小学生	中学生	乳幼児	小学生
<b>子どもと家族の状況</b>					
現在通っている学校（市立・その他）		問1	問1		
子どもの性別	問2	問3	問3		
<b>保育サービスの利用について</b>					
希望した時期に保育サービスを受けることができたか	問11				
保育所の利用についての要望（時間・土曜の利用・日祝日・入所手続・保育料）	問14				
幼稚園の利用についての要望（時間・開園日・保育料）	問15				
現在通っている幼稚園の種類（市立・市内私立・市外私立）	×				
幼稚園での預かり保育の利用状況（利用日数・利用時間）	×				
<b>学童保育の利用について</b>					
学童保育についての希望（時間・学年・日祝日・施設・指導内容・費用）		問11			
学童保育の利用についての満足度（施設・人員体制・対応）		×			
<b>病児・病後児保育について</b>					
こどもの病気や病気回復時に利用したいサービス（派遣型・保育所・病院）	×				
<b>子どもの一時預かりについて</b>					
子どもを預ける場合に希望するサービス（自宅・保育所・近隣の人）	×				
<b>ふだんの子どもの過ごし方について</b>					
平日の放課後・土曜・日曜・祝日及び長期休業期間中の子どもの過ごし方		問22	問9		
子ども同士の交流の場として望ましいもの（自主活動・相談・見守りができる）		問23	問10		
参加したことがある（させたい）地域活動やグループ活動		問24	問11		
<b>子育ての状況について</b>					
子どものかかりつけ医の有無（市内・市外・なし）	問27	問25			
仕事と子育てに関する保護者の状況（仕事・子育てにおける現実の優先度）	問28	問26	問12		
子育てに関して不安・負担に感じること	問29	問27	問13		
子育てに関する悩みや不安を誰に相談するか	問30	問28	問14		
子育てに関する情報の入手方法	問31	問29	問15		
子育てサークルなど自主的活動への参加状況	問32	×			
行政に求める自主活動への支援（場所提供・情報発信の支援・保育サービスの利用・資金援助）	問32-1	×			
子どもの安全・安心の対策（帰宅時間・防犯ブザー所持・携帯電話所持・送迎）		問30	問16		
性教育について親子で話し合っているか		問31	問17		
話し合っていない理由		問31-1	問17-1		
<b>子育ての考え方や感じていることについて</b>					
妊娠したときの気持ち	×	×			
出産後の対応（母の実家の援助・父の実家の援助・夫婦のみ）	×	×			
定期健診の満足度	×	×			
現在の住まいについて感じていること	×	×			
男性が家事・子育て・教育へ積極的に参加するために必要なこと	問34	問33	問19		
女性が子育てをしながら働き続けるために必要なこと	問35	問34	問20		
理想とする子どもの数と実際（予定）の子どもの数	問36	問35	問21		
理想より実際（予定）の子どもの数が少ない理由	問36-1	問35-1	問21-1		
子育てや子どもへの地域のかかわりについて期待すること	問37	問36	問22		
少年犯罪・児童虐待等の原因や背景をどのように考えるか		問37	問23		
子育てにおいて家庭で大切にしていること・学校で大切にしてほしいこと		問38	問24		
子どもの遊び場について感じていること（スペース・環境・遊具）	問38	問39			
子どもとの外出の際に困ること・困ったこと（信号がない・歩道段差・授乳・オムツ替え）	問39	×			
芦屋市は子育てしやすいまちか	問40	問40	問25		
芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なこと	問41	問41	問26		
自由意見	問42	問42	問27		

## アンケート調査項目に関する意見（第1回地域協議会分）

### 【アンケートに反映した意見】

- 「学童保育の時間延長の希望」を聞く項目が必要 → 小学生・問 11 を設定
- 「土・日・祝日の保育サービスの利用希望」の質問で、「利用希望はない」を選択した場合の理由を聞いた方がいい。（乳幼児・問 13）
  - 理由を記載する（ ）を設定
- 「出産や育児において医療体制に不安はないか」の質問を加えてはどうか。（例：「主治医はいるか」「産婦人科について困ったことはなかったか」等）
  - 「子どものかかりつけ医の有無」の質問を設定（乳幼児・問 27, 小学生・問 25）
- 「子育てに関する悩み等を相談できる人がいるか」の質問が必要
  - 乳幼児・問 30, 小学生・問 28, 中学生・問 14 を設定
- ワークライフバランスの意識をもっと掘り下げた質問が必要（例：会社の規模による育児休業制度の利用状況等に関する質問）
  - 「仕事と子育てに関する保護者の状況」の質問を設定（乳幼児・問 28, 小学生・問 26, 中学生・問 12）
  - 「男性が家事・子育て・教育に積極的に参加するために必要なこと」の質問を設定（乳幼児・問 34, 小学生・問 33, 中学生・問 19）
  - 「女性が子育てをしながら働き続けるために必要なこと」の質問を設定（乳幼児・問 35, 小学生・問 34, 中学生・問 20）
- 「子どもが何人ほしいか」「今後の出産希望」の質問を加えてはどうか。
  - 「理想とする子ども数と実際（予定）の子ども数」の質問を設定（乳幼児・問 36, 小学生・問 35, 中学生・問 21）
  - 「理想より実際（予定）の子ども数が少ない理由」の質問を設定（乳幼児・問 36-1, 小学生・問 35-1, 中学生・問 21-1）
- 回答で「その他」を選んだ場合に、理由を記載できるように末尾に（ ）をつけてはどうか。 → 全てに（ ）を設定

【アンケートに反映していない意見】

- 外国人の立場からの質問も考えて欲しい。  
(例：乳幼児・問 4, 小学生・問 5, 中学生・問 5 の「同居・近居の祖父母等の有無」は, ビザの関係で親族を日本に呼べず同居等ができない場合もある。)
- 「国籍」や「日本語が使えるか」の質問を加えてはどうか。
- 就労状況の「1 週間の平均的な就労時間」は, 変則勤務者が記入しにくい。  
(乳幼児・問 8, 小学生・問 9, 中学生・問 8)
- 在宅ワークなど就労形態の希望を幅広く聞き取ることができる質問が必要
- 母親の就労希望に関する「1 番小さい子が( )歳になったときに就労したい」は, 何人目の子どもの時に就労したいのかわからない。  
(乳幼児・問 8-1, 小学生・問 9-1)
- 軽度発達障がいに対する支援, 障がい児をもつ親の就労についての質問が必要
- アンケート表紙の文章を, 回答したくなるような魅力的な文章にした方がいい。
- 質問項目が多すぎては, 回答してもらえない。